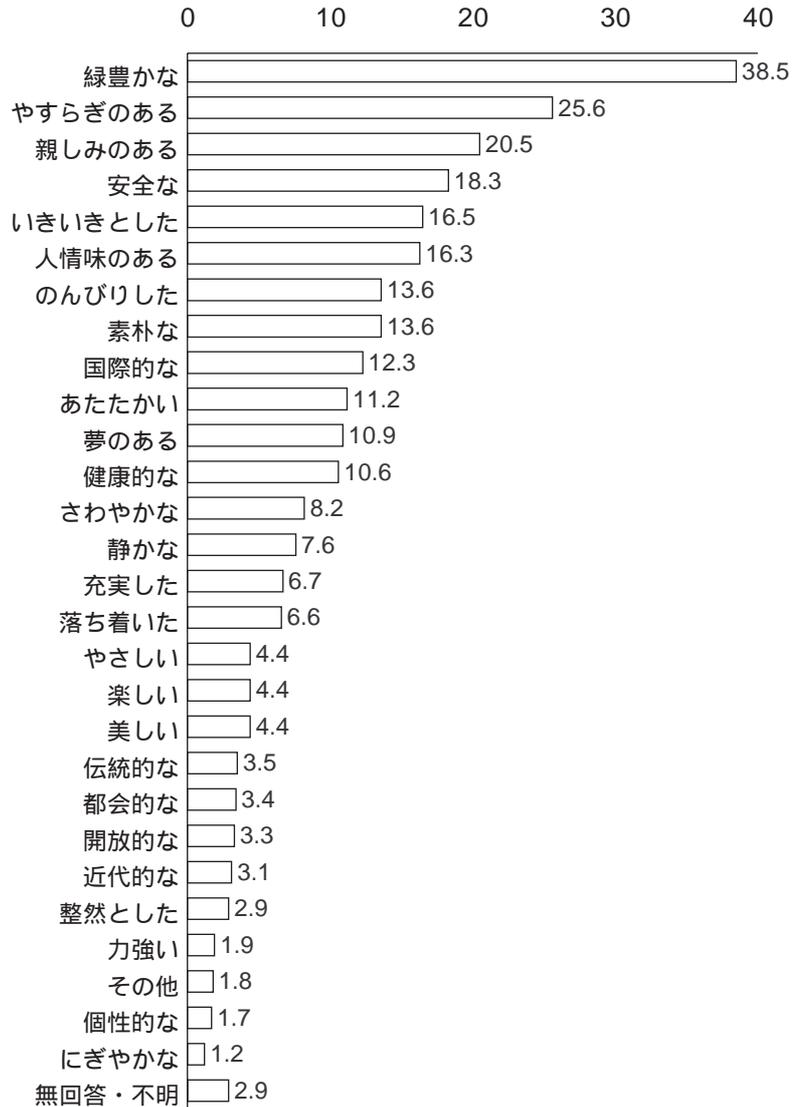


3 これからのまちづくりについて

「緑豊かな」「やすらぎのある」「親しみのある」が特に多い
 「にぎやかな」「個性的な」「力強い」が特に少ない

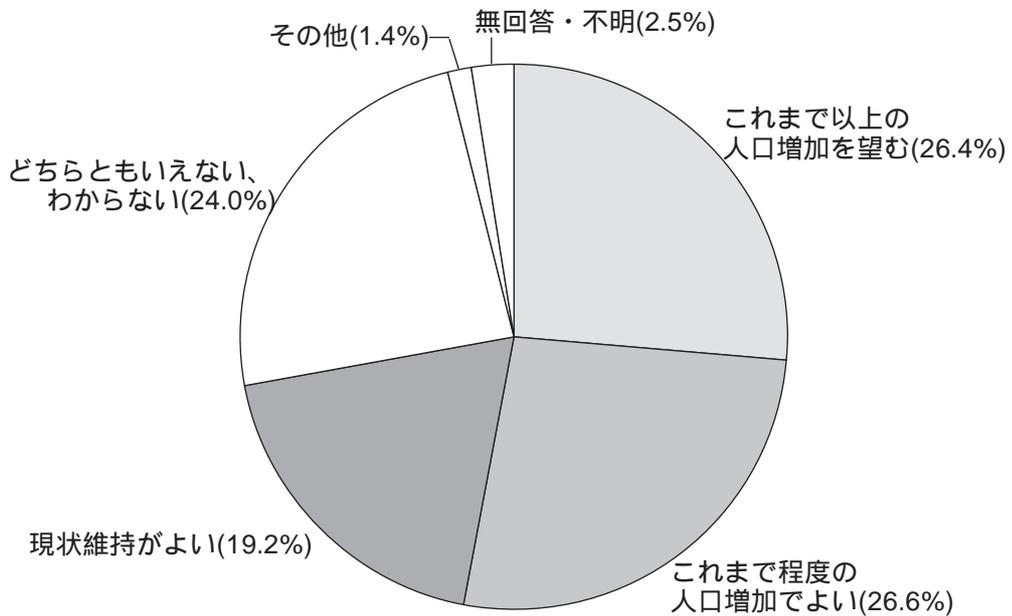
問 18 将来の富里町のイメージとして次のどの言葉がふさわしいとお考えですか。次の中から
3つまで選んでください。 (%)



富里町のイメージを表す言葉として、最も多かったのが「緑豊かな」であり、「やすらぎのある」、「親しみのある」がこれに次いでいる。その反面、「にぎやかな」、「個性的な」、「力強い」といったイメージは少なく、どれも1%台にとどまっている。年齢別にみると、「緑豊かな」は特に30代後半から50代の層で高く、ほとんどの年齢層で40%台の高い支持を集めている。また、年齢が高くなるにつれて「親しみのある」や「人情味のある」が増えていく傾向がみられ、年齢が低くなるにつれて「のんびりした」が増えていく傾向がみられる。

人口増加を求める回答者が53%と過半を占める

問19 あなたは、これからの富里町の人口についてどのようにお考えですか。次の中から1つを選んでください。



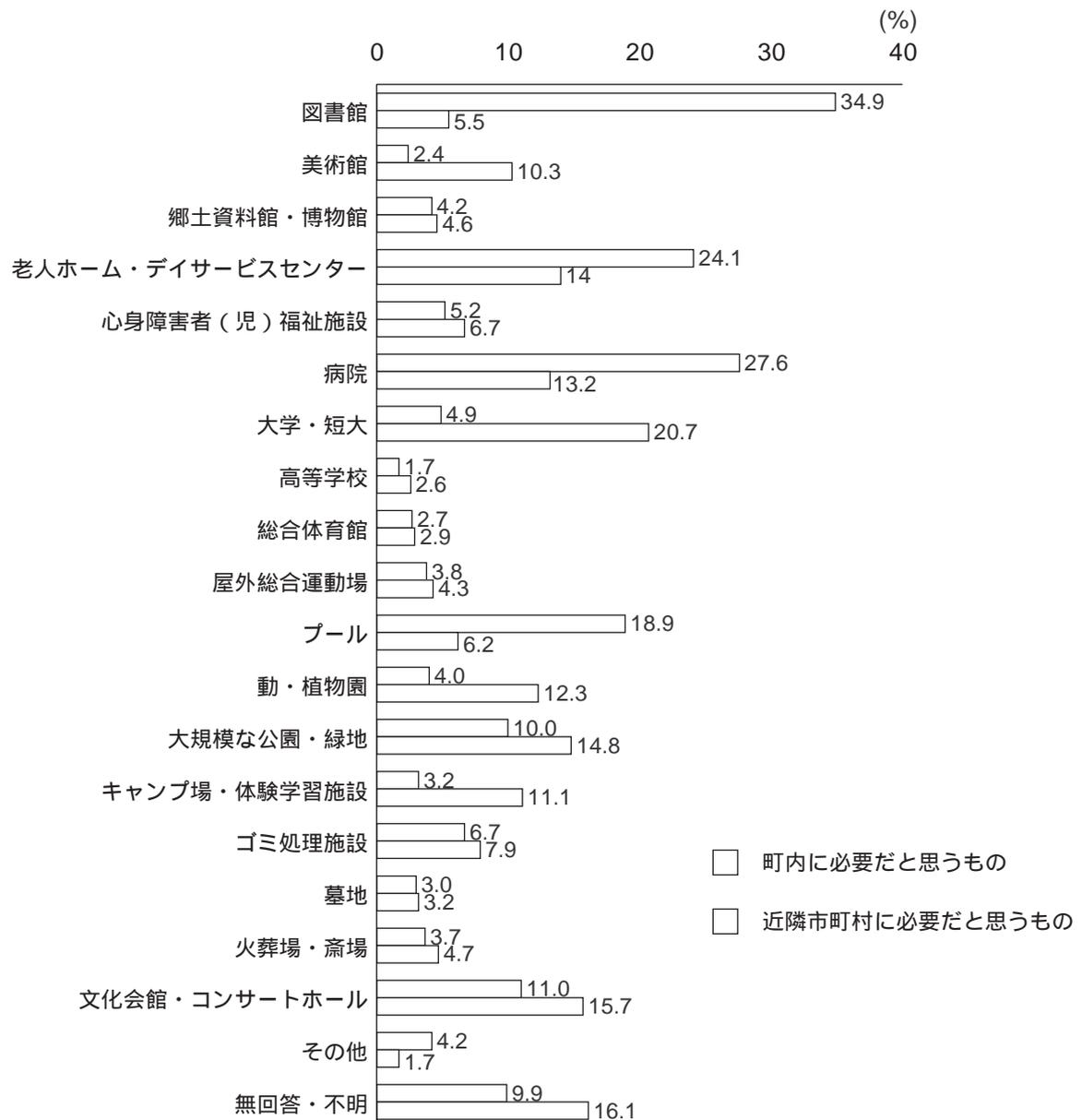
これからの人口については、「これまで程度の人口増加でよい」と「これまで以上の人口増加を望む」とする回答がほぼ同率で並んでいる。両者を合わせ、今後も人口増加を望むとする回答は全体の53.0%と過半を占める結果となった。

年齢別にみると、年齢が低くなるほど「これまで以上の人口増加を望む」とする回答が増える傾向があり、20代では、30%を越えている。

居住地別にみると、「根木名」、「洗心」で「これまで以上の人口増加を望む」とする回答がそれぞれ37.3%、35.0%と高くなっている一方、「浩養」では「現状維持がよい」が34.8%と最も高くなっている点は注目される。

近隣市町村では、「大学・短大」、「文化会館・コンサートホール」、「大規模な公園・緑地」、「老人ホーム・デイサービスセンター」、「病院」が多い
町内では、「図書館」、「病院」、「老人ホーム・デイサービスセンター」が多い

問20 あなたは、次の施設についてどう思われますか。町内に必要だと思うものと、近隣市町村内に必要だと思うものについてそれぞれ2つまで選んで番号でお答えください。



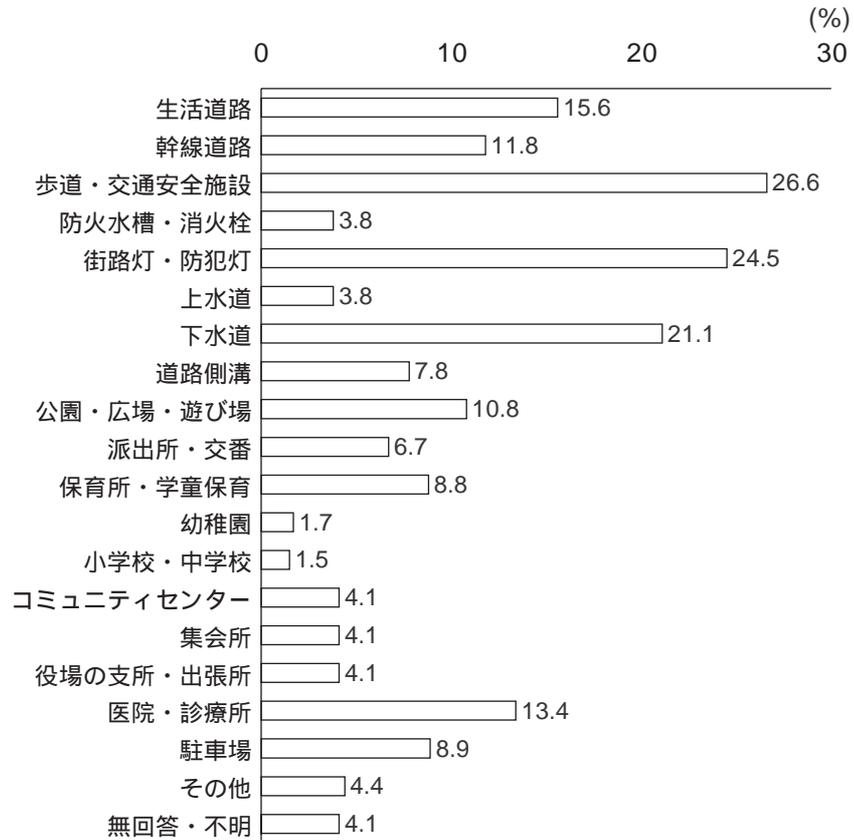
町内に必要だと思う施設で最も多かったのが「図書館」で34.9%となった。またこれに次いで「病院」(27.6%)、「老人ホーム・デイサービスセンター」(24.1%)、「プール」(18.9%)、「文化会館・コンサートホール」(11.0%)という順になっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「老人ホーム・デイサービスセンター」が高くなる一方、年齢が低くなるにつれて「図書館」が高くなる傾向がみられる。特に、20代

前半では「図書館」が55.2%に達している。また30代から40代については「プール」の要望が高く、30代前半で35.0%、40代前半で36.3%と高い割合になっている。居住地区別でも、おおむね全体と同じ傾向が現れているが、「七栄」と「根木名」で「病院」を求める回答がやや高くなっている。次に近隣市町村に必要なと思うものについては、「大学・短大」が20%と最も多く「文化会館・コンサートホール」(15.7%)、「大規模な公園・緑地」(14.8%)がこれに次いでいる。

「歩道・交通安全施設」、「街路灯・防犯灯」、「下水道」が上位3位を占める

問21 あなたの住んでいる地区で必要だと思う施設、あるいは充実すべきだと思う施設は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

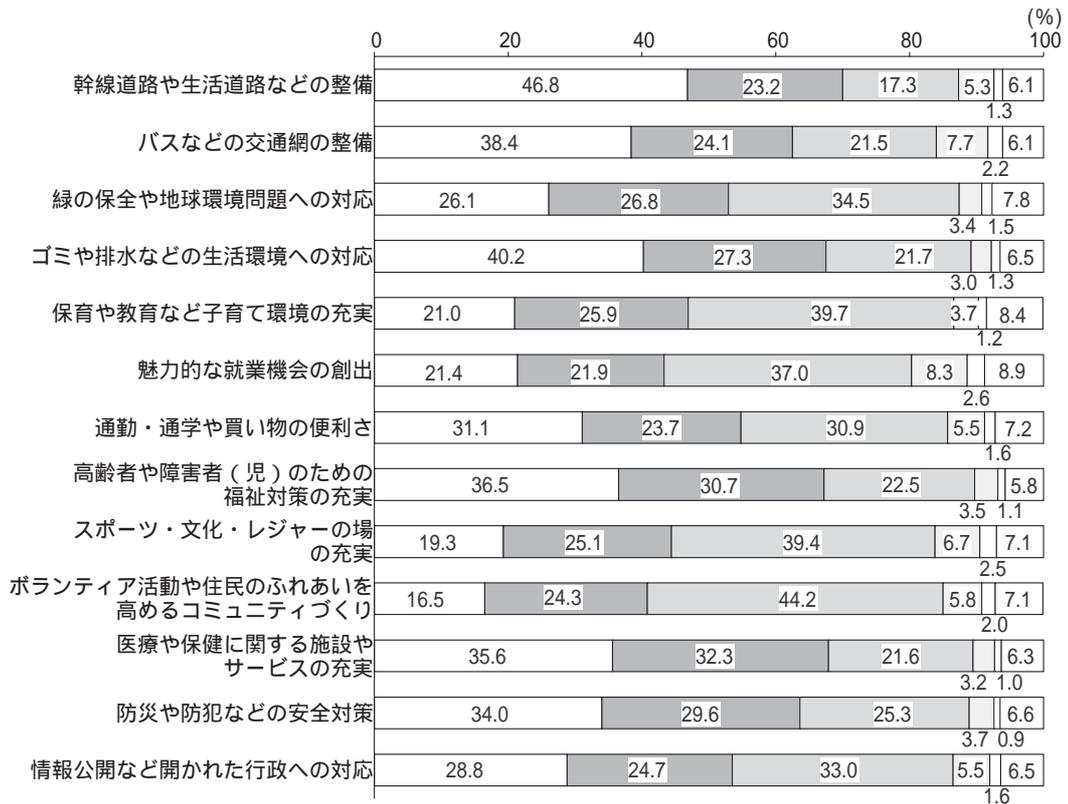


身近な地区で必要だと思う施設については、「歩道・交通安全施設」が最も多く、「街路灯・防犯灯」、「下水道」、「生活道路」がこれに次いでいる。年齢別にみると、20代と30代で「公園・広場・遊び場」を求める回答が多く、30代前半では30.0%に達している。

「幹線道路や生活道路などの整備」に最も大きな期待が寄せられている

問22 富里町をより住みやすくするために、あなたは、今後どのようなところに特に力を入れてほしいと期待していますか。それぞれの項目について、1から5の数字を1つ選んでください。

- 非常に期待している 普通 期待していない
 やや期待している あまり期待していない 無回答・不明

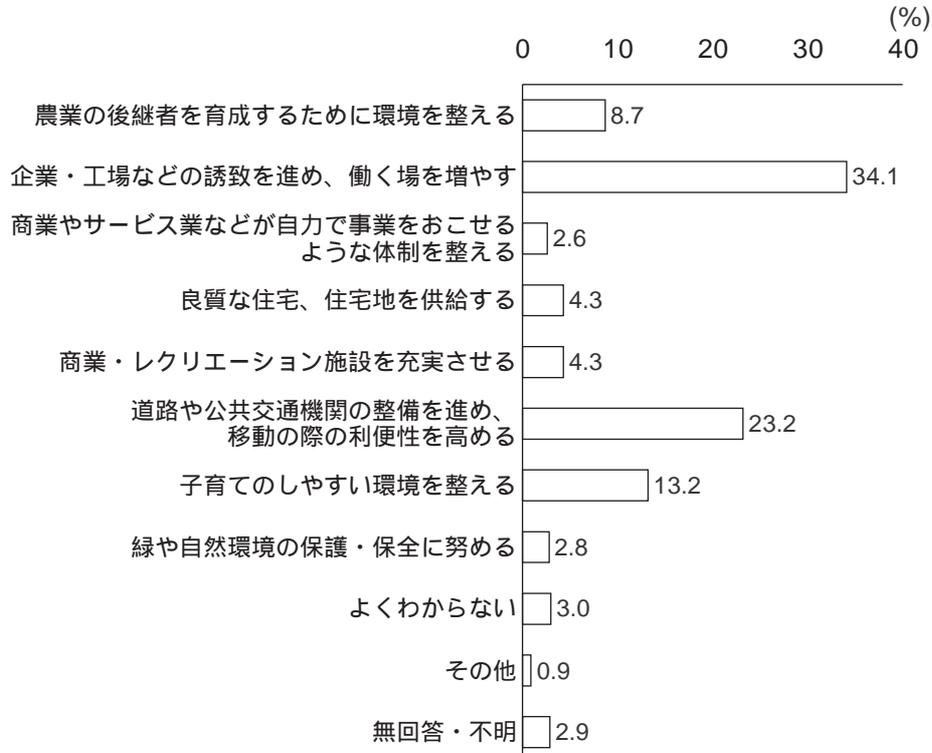


より住みやすくするために、今後特に力を入れて欲しいものについては、「幹線道路や生活道路などの整備」を筆頭に、「ゴミや排水などの生活環境への対応」、「高齢者や障害者（児）のための福祉対策の充実」、「医療や保健に関する施設やサービスの充実」に高い期待が寄せられる結果となった。

年齢別にみると、年齢が高まるほど福祉や医療、保健に関する期待が高まっていく傾向がみられる。また、30歳代で「保育や教育など子育て環境の充実」が、また20代と30代で「スポーツ・文化・レジャーの場の充実」への期待が多くなるという特徴がみられる。

若い世代の定住のためには、「働く場」を増やすことを必要としている

問23 若い世代が町に定住していくためには何が必要だと思いますか。1つ選んでください。



若い世代が定住していくためには、「企業・工場などの誘致を進め、働く場を増やす」ことが必要であるという回答が34.1%と最も多く、「道路や公共交通機関の整備を進め、移動の際の利便性を高める」がこれに次いで23.2%となっている。

年齢別にみると、20代は「道路や公共交通機関の整備を進め、移動の際の利便性を高める」が第1位となり、30代後半からは「企業・工場などの誘致を進め、働く場を増やす」が逆転して第1位となる。

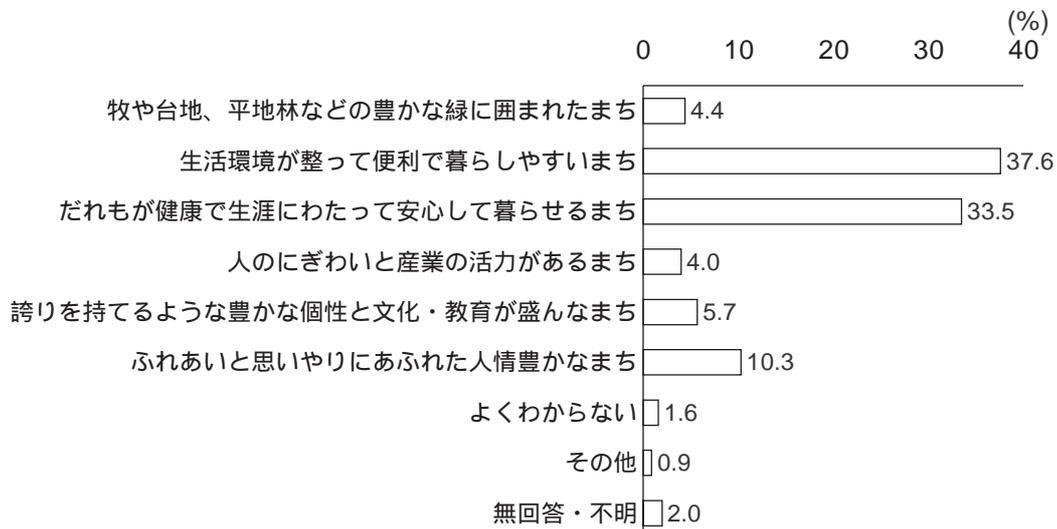
特に20代前半では35.8%の回答者が「道路や公共交通機関の整備を進め、移動の際の利便性を高める」を選んでいる。

また、同居家族別にみると、小学校未入学の子を持つ回答者の35.1%が「子育てのしやすい環境を整える」と、最も多い回答を寄せている点は注目される。

さらに、居住地域別に見ると、「浩養」で「農業の後継者を育成するために環境を整える」が最も多くなっているが、他の地区では「企業・工場などの誘致を進め、働く場を増やす」が第1位となっている。

暮らしにおける「利便性」と「安心」を求める声が多い

問24 町は今後どのようなまちづくりを目指していくべきだとお考えですか。次の中から1つを選んでください。



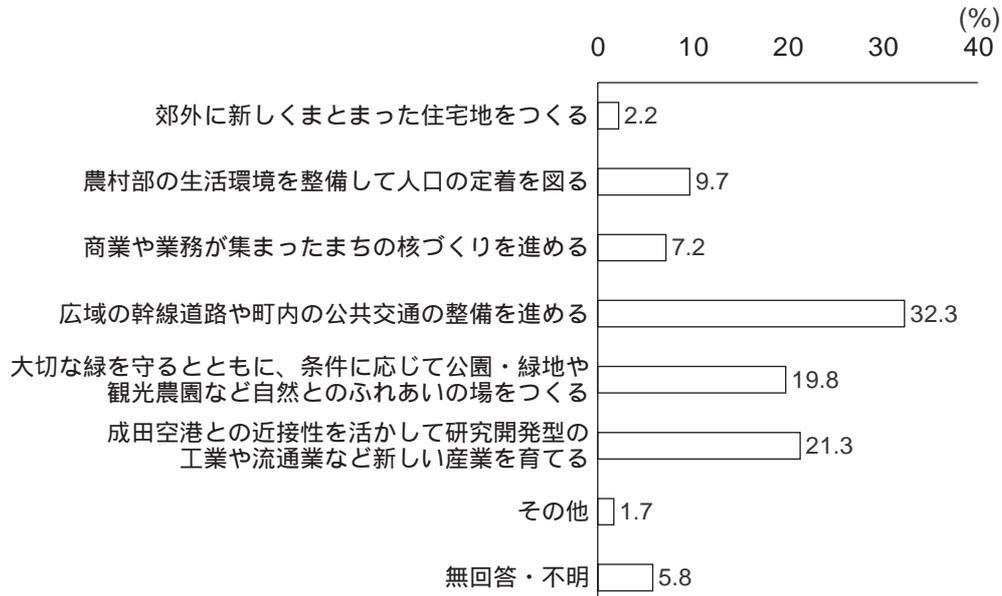
今後のまちづくりの方向性については、「生活環境が整って便利で暮らしやすいまち」が37%と最も多く、「だれもが健康で生涯にわたって安心して暮らせるまち」が33.5%とこれに次いでいる。

年齢別にみると、20代から40代前半までは「便利で暮らしやすいまち」が最も多く、40代後半からは「安心して暮らせるまち」が逆転して最も多くなる傾向がある。

居住地域別にみると、「便利で暮らしやすいまち」が「安心して暮らせるまち」を上回っているのは「富里」₁、「七栄」₁、「根木名」₁、「富里南」であり、逆に「安心して暮らせるまち」が「便利で暮らしやすいまち」を上回っているのは「日吉台」₁、「富里第一」₁、「浩養」₁、「洗心」となっている。

幹線道路や公共交通の整備を求める声が多い

問25 あなたは、富里町のこれからのまちづくりはどうあるべきだと考えますか。特に優先すべきだと思われるものを次の中から1つ選んでください。



これからのまちづくりで優先すべきことについては、「広域の幹線道路や町内の公共交通の整備を進める」が32.3%と最も多く、「成田空港との近接性を活かし研究開発型の工業など新産業を育てる」が21.3%とこれに次いでいる。

居住地域別にみると、「浩養」で「農村部の生活環境を整備して人口の定着を図る」が第1位、「緑を守るとともに条件に応じ公園等自然とのふれあいの場をつくる」が第2位となっており、特徴的である。また、「七栄」でも「緑を守るとともに条件に応じ公園等自然とのふれあいの場をつくる」が第2位と高い評価になっている。